

児童  
対象

## 玄海わんぱく自然塾

2013年1月19日(土)～20日(日)

今回で5回目となる玄海わんぱく自然塾。いよいよシリーズ最終回を迎えました。新年早々、15名の子どもたちが集まり、寒さも忘れて活動していました。

1日目の初めの活動はテント設営。第1回目でテント設営を行っていたので、みんなテキパキとテントを建てていきます。あっという間にテントの完成！

午後からは玄海わんぱくラリーを行い、貯水池周りの自然を感じながら貯水池を1周しました。わんぱくラリーの結果で、夕飯の野外炊飯のメニューを選ぶことに……。結果は同点！課題得点の少しの差で2班が勝ちました。今回はあったか鍋作りということで、1班がちゃんこ鍋、2班がカレー鍋を作りました。水がとっても冷たくて、調理は大変でしたが、みんなで作った鍋を食べるとすぐに温まりました！

夜は記念品作り。自分たちで拾った枝を使った素敵なフォトフレームを作りました。寒い夜でしたが、テントの中は意外と暖かくぐっすり休んでいました。

2日目は、多くの保護者の皆様に参加していただき、おもちゃつきを行いました。みんなであつたおもちはきなこや砂糖醤油でおいしくいただきました！

最後の閉塾式では、サイン交換をしたり、思い出のスライドを見て、全5回の活動を振り返りました。1年間、わんぱく自然塾を通して、子どもたちはたくましく成長したなあと感じました。参加してくれたみんな、ありがとうございました！また玄海青年の家に遊びに来てくださいね☆



青年  
対象

## ボランティア研修会

2013年1月26日(土)～27日(日)

玄海青年の家で活動している施設ボランティア「かわせみ」を対象にした研修会を実施しました。今回は「竹」をテーマにして2日間活動しました。

1日目は、竹炭作り体験から始めました。炭焼き窯に、細長く割った竹を隙間なく入れていきます。そして、フタをして火入れをしたら、窯内の温度を275℃まで上げていきます。温度を上げるあいだに、次に使うための竹を割ったり、放置竹林の手入れをして、一輪挿しや竹のけん玉を作ったりしました。夜は、ナイフを使って竹を削り、竹ボールペンを作りました。製作するだけでなく、子ども達にナイフを使わせる際、どのようなことに気をつけるのか、何を工夫したら活動しやすいのかということを実際に体験しながら気づくことができました。

2日目は、朝から所内の岬を皆で整備しました。もう少し整備が進むと、陽が差し風の通る心地の良いフィールドになりそうです。その後、いよいよ炭焼き窯を開けます。温度がなかなか上がらなかった今回は、どのような炭ができていでしょう！？いざ、窯を開けてみると、半分は燃えてしまっていたのですが、もう半分は成功。その竹炭でクラフトをしました。竹炭は水をつけながら、紙やすりで擦って表面を磨き、乾いた布で拭きあげると…何と黒い炭がつかなくなるのです☆竹炭には浄化作用があるらしく、穴を開けてキーホルダーやネックレスにしました。2日間、竹三昧のボランティア研修会でした。



親子  
対象

## とんだ自然楽校

～とんちゅ&ピオトープの冬鳥～

2013年2月10日(日)

この冬の【とんだ自然楽校】は、玄海青年の家の周辺フィールドに出かけて、身近な自然や野生生物を「ちょこっと自然科学」的な視点で体感してほしいな…という思いでやっています。そこには、前回の海ゴミの実態(12/23実施)や今回の冬鳥の日常を、知ったり考えたりする機会を通じて、(自然や動物を単に「きれい～」「かわいい～」ではなく)それぞれの背景や他の「もの・こと」との繋がりに気づくきっかけになれば…という本意があります。

さて、今回、題して「マイバード(私の鳥)」という創作アクティビティ(簡単なクラフトです)を皮切りに、双眼鏡の使い方、そしてバードウォッチングを行いました。

頓田貯水池にはこの季節、たくさん水鳥が暮らしています。双眼鏡やフィールドスコップを使って、のんびりと観察しました。青年の家のグラウンドや林にも、山野の小鳥が姿を見せてくれました。

午後は、気持ちよい青空の下、昨秋オープンした「響灘ピオトープ」を歩きました。あいにく数はいませんでしたが、開けた土地や水辺等々、それぞれの環境を好む代表的な鳥に出会うことができました。

単なる「観察会・探鳥会」ではない「野鳥のプログラム」。今後も地味に続けていきたいと思います。講師でお越しいただいたGさん、本当にありがとうございました。



## 玄海所員の小話

連載もいよいよ第23回目となりました。「玄海所員の小話」は玄海青年の家で働く所員の日頃気になることや、みなさんに伝えたいことなどをお話しています。今回は 指導員の『ヒグリーノ』がお届けします。

### 『お父さんは、つらいよ?』

私には小さな子どもが二人います。先日、インフルエンザの予防接種に二人を連れて病院に行きました。そこで、入り口に花を飾っているのが目にはいりました。そのすぐ横を通り過ぎたと思いきや、「ガシャン!」「しまった、つぼが落ちた～」すぐに受付の方へ謝りにいきました。「高いものではないので、大丈夫ですよ」と言われたものの、片付けをしてくれた看護師さんが病院の先生にも報告している姿を見て、受診の際、この先生にも壺のことを謝りました。こどもが落とすと勘違いされそうだったので、「私がバックのひもに引っ掛けて落としてしまいました」と正直に伝えました。先生は、「二人の子どもを連れてきて大変でしたね。大丈夫ですから気になさらないで下さい。」と優しく答えてくれました。と、言われたものの、けっこうへこんで家に帰りました。妻に報告すると案の定、「やっちゃったのね～」「本当は高いつぼだったらどうするの～」など、ぶつぶつ。

その夜、妻から上の息子が病院での出来事をお話してくれたよとのこと。「お父さん、一生懸命ちゃんと謝っていたよ。」このことを聞いて、驚いたと同時に、自分の行動に対する責任の重さを痛感しました。



## 玄海 —第28回— 図鑑

## 梅



今、玄海青年の家には、梅の花が咲き始めています。白い花やピンク色の花、両方ともとてもきれいです。

花のあとは、実がなります。去年は梅ジュースや梅干を作ったりしました。(梅ジュースは失敗してしまいましたが…)また、今年も作ってみようかと思っています。

梅は、疲労回復やイライラを解消したり、胃腸の働きを良くすると言われていています。胃腸の働きを良くするという点では、みなさんも、こんな経験があるのではないのでしょうか?梅を食べたり、または、食べたことを想像するだけでも、唾液が出てきませんか?これらは、梅の酸味が舌に触れることにより、唾液の分泌が盛んになるからです。一度その酸味を味わうと、想像するだけでも、唾液の分泌がされるとは不思議ですね。また、それに伴い、胃液も分泌され、胃腸が活発に働き、消化がすすみ、食欲がでるといわれています。

おいしくて、体を改善してくれる梅干ですが、塩分が多いので、食べすぎには注意してくださいね。